

目次

〈巻頭論文〉

ヘルスケアとケアの倫理……………	谷口文章	1
------------------	------	---

I 《焦点1》気づきと行動変容

1. 日本におけるグリーフケアの課題 ——「おくりびと」は「おくられびと」に 「ケアされる人」は「ケアする人」に——……………	高木慶子	19
2. グリーフケア——「わいわい食堂」の試みと評価——……………	坂口幸弘	21
3. いのちの自立への支援を問う……………	内藤いづみ	31
4. 笑いとケア——笑いの治癒力——……………	西松央一	35
5. ころは egao になれたかな？ ——小児科ボランティア活動における気づき——……………	神田美子	41

II 《焦点2》気づきの支援

1. 癒しのプログラム——サイモントン療法——……………	田村祐樹	53
2. ナラティブ・アプローチの技法……………	中川晶	59
3. 臨床アロマセラピーの可能性について……………	相原由花, 竹林直紀	70
4. ミュージックセラピーとヘルスケア……………	石井豊子	79

III 《焦点3》医療の原点を振り返る—癒しの医学—

(中川米造追悼記念シンポジウム)

1. 中川米造における思想形成過程について……………	友吉唯夫	88
2. 中川米造「医学概論」講義……………	後藤幸一	92
3. 『医学の弁明』の弁明……………	小林昌廣	100

IV 原著論文

1. NICU に入院した子どもの母親をケアする助産師の体験の
本質を探究する過程——研究者の内省を用いて——……………木村 晶子 107
2. 看護学生の月経随伴症状と心理社会的要因の関連の検討
……………小川貴子, 橋本佐由理 123

V 研究ノート

1. 看護者のための“聴き取り”技能の開発に向けて
——対話場面の意味生成過程と
看護者の自己内対話による物語化——……………吉村 雅世 139
2. 子ども家庭支援専門職へのナラティブ・アプローチ講座における
学びのプロセス……………新川泰弘, 中川 晶, 吉弘淳一 155
3. 先天性身体障害者における心理・社会的研究の動向と展望
——二分脊椎症者に焦点を当てて——……………藤田 裕一 171
4. 高齢者のクオリティ・オブ・ライフに及ぼす
ライフレビュー法の効果研究……………山崎久美子, 林 千晶 185
5. 糖尿病腎症患者における糖尿病治療・療養中断に対する思い
……………小松実恵子, 恩幣(佐名木)宏美, 岡 美智代 196
6. 研修医の抱える問題から示唆された卒前行動科学教育の課題
——グループインタビューによる質的分析——
……………鈴木富雄, 阿部恵子, 桑島 愛, 河野直子, 伴 信太郎 209
7. 子どもは検査までの時間をどのように過ごすのか
——小児がんの子どもが辛い検査を「待つ」過程に着目して——
……………大西 薫 225
8. 新卒看護師のパーソナル・コンストラクトが適応プロセスに及ぼす影響
——Role Construct Repertory Test (RCRT) による検討——
……………塚本尚子, 船木由香 241

VI 資料

在宅脳卒中患者の心理的 QOL に影響を及ぼす関連要因の探索	武田知樹 257
---	----------

VII 鍵概念

「健康と病いの語り」データベース.....	澤田明子 268
-----------------------	----------

VII 学会関連記事

第24回日本保健医療行動科学会学術大会を終えて.....	276
北海道支部研究会報告.....	278
東京支部研究会報告.....	280
近畿支部研究会報告.....	283
日本保健医療行動科学会設立趣意書.....	288
日本保健医療行動科学会会則.....	289
日本保健医療行動科学会年報投稿規定.....	294
日本保健医療行動科学会年報バックナンバーのご案内.....	300

〈編集後記〉

〈英文目次〉